

市立池田病院 地域医療連携ネットワークシステム

地域医療連携ネットワークシステムは、地域の連携医療機関が患者さんの同意のもと、市立池田病院に保存されている診療情報を、ネットワークを通じて閲覧するシステムです。連携医療機関が当院での検査や診断、治療内容、説明内容などを診療に反映させることで、切れ目のない安心な医療を提供し、地域の「医療の質」の向上をめざすものです。

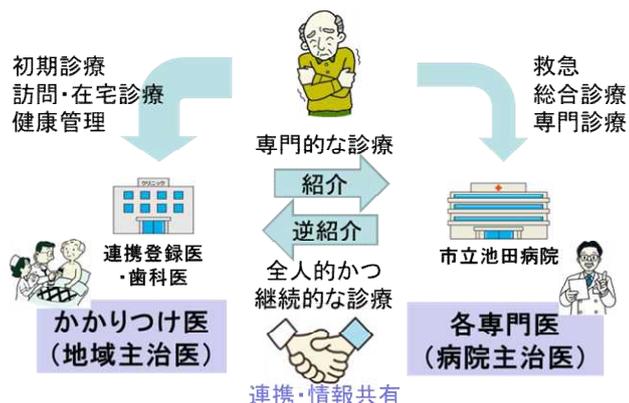
■ 二人主治医制による安心の医療

近年の医療は、高齢化の進展や疾患の多様化、医療の高度・専門化等により、一つの医療機関だけで全てを提供することは難しくなっています。

このため、かかりつけ医と病院がますます密接に連携するなど、関係施設の連携を基盤とした、地域全体での医療提供が不可欠です。

市立池田病院では、地域のかかりつけ医（地域主治医）と、当院の各専門医（病院主治医）の、二人の主治医が互いに連携・情報共有しながら継続診療を行う「二人主治医制」を推進しています。

当院での専門的な治療により症状が安定すると、かかりつけ医へ逆紹介し、継続的な診療をお願いします。また、定期的な検査など必要に応じて当院を受診していただきます。



■ かかりつけ薬局との連携による安全性の向上

お薬を一つの薬局でまとめて管理すると、複数の医療機関からの処方箋の重複や薬の相互作用（注意を要する飲み合わせ）に気付くことができ、薬局での投薬の安全性の向上が期待できます。

市立池田病院は、患者さんが日頃から薬や健康のことを気軽に相談できる「かかりつけ薬局」と連携・情報共有することで、かかりつけ薬局における調剤、服薬指導を支援します。

■ 情報連携を強化するためのシステム

施設連携を基盤とした地域全体での医療提供を進めるには、従来の紙媒体での情報伝達に加え、ICTを活用した情報連携の必要性が高まっています。本システムは、患者さんの同意のもと、当院での検査や診断、治療内容、説明内容などの診療情報を地域の連携医療機関から閲覧できる仕組みです。連携医療機関と市立池田病院との情報連携の強化を図り、切れ目のない安心な医療を提供し、質の向上をめざします。

■ メリット

- 地域の「医療の質」の向上が期待できます。
- 情報共有により、かかりつけ医がさらに適切な診療方法を検討する材料が増え、患者さんは、より安心な医療を受けることができます。
- かかりつけ医が当院での診療経過を閲覧できるので、当院の退院後や救急受診後など、円滑な継続治療を進めることができます。
- 当院に依頼されたCTやMRIなどの検査結果を、迅速かつ詳細に閲覧できます。
- 検査や処方の重複を防止するとともに、薬局での投薬の安全性の向上が期待できます。

■ セキュリティ

本システムは、厚生労働省が定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に沿った高度なセキュリティを確保するなど万全を期しており、既に全国の医療機関で導入されています。

あくまで患者さんの同意に基づき、許可された医療機関から閲覧を可能とするものであり、一切同意しないことや途中で中止することもできます。

■ 災害時対策

本システムは、東日本大震災での教訓から、大規模災害や停電、浸水など非常時に診療情報が喪失することの防止を目的として、主要な診療情報を遠隔地にあるデータセンターにバックアップする機能も有します。万が一、当院の診療情報が消失したり、閲覧できない非常時でも、かかりつけ医などの端末からは主要な診療情報の閲覧が可能であり、継続した治療が可能となります。

■ ご利用方法

本システムの参加施設からご利用できます。かかりつけの医療機関の登録と、患者さんの同意のもとで利用開始となります。ご利用を希望される患者さんは、参加施設へご相談ください。

